Panasonic®

設置説明書

センサーカメラ

品番 VL-CM140（ブイエル シーエム）
VL-CM160（ブイエル シーエム）
VL-CM140KT（ブイエル シーエム ケイティー）
VL-CM160KT（ブイエル シーエム ケイティー）

設置の前に
設置説明

設置をされる方へ

●必ず、本機をテレビ/レコーダー/テレビドアホンに登録してから、設置を行ってください。
●各機器に登録するときに、電源を入れ直す必要がありますので、送電装置は手の届く場所に設置してください。



VL-CM140/VL-CM140KT
（屋外タイプ）



VL-CM160/VL-CM160KT
（ライト付屋外タイプ）

■設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

設置をされる方へ

■この設置説明書をよくお読みの上、正しく設置してください。
■特に「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みいただき、安全に設置してください。
■カメラ本体と送電装置までの総配線距離は**30 m以内**となるようにしてください。
■正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
●設置終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

表記について

本書内での表記について

●本書では、「センサーカメラ」を「カメラ」と表記しています。
●本書で使用しているカメラのイラストは、VL-CM160を代表として記載しています。

マーク表記について

● お 願 い ....設置上、お守りいただきたい重要事項や禁止事項を記載しています。必ずお読みください。

● お知らせ ....操作の参考となることや、補足説明を記載しています。

● （☞ ○ ページ）......説明上、参照していただきたいページを記載しています。

商標／登録商標について

●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

もくじ

設置のながれ

■ 設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 設置をされる方へ

- ●カメラ本体と送電装置までの総配線距離は**30 m以内**となるようにしてください。
- ●各機器に登録するときに、電源を入れ直す必要がありますので、送電装置は手の届く場所に設置してください。
- ●正しく、安全にご使用いただくための設置方法について記載しています。よくお読みのうえ、設置の手順に従って正しく設置してください。
- ●正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ●設置終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

下記の項目をよく読む

- ●安全上のご注意(☞ 8〜10 ページ)
- ●設置上のお願い(☞ 11 ページ)
- ●各部のなまえとはたらき(☞ 取扱説明書)

▼

カメラを設定する

1. カメラと各機器を仮接続する
2. 各機器にカメラを登録する
3. カメラの画像を見る

（1.〜3.）登録ガイドを参照してください。

4. カメラの基本設定をする(取扱説明書を参照してください。)

▼

カメラを設置する

(☞ 23 ページ)

▼

センサーの検知範囲／感度を調整する

(☞ 34 ページ)

お知らせ

- ●設置後に「みえますねっとLiteサービス」（有料）に申し込む場合は、別冊の取扱説明書をご覧ください。（取扱説明書☞ 58 ページ）

付属品・添付品の確認

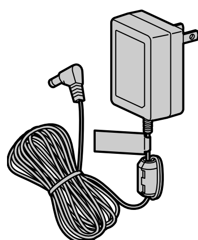
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

本製品の付属品以外にご用意いただくものについては、22 ページを参考にしてください。

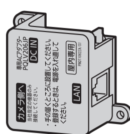
付属品

全製品共通

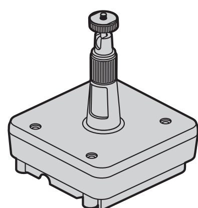
□ ACアダプター...................... 1個
（コード長さ 約3 m）



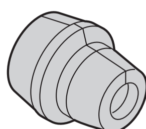
□ 送電装置................................ 1個



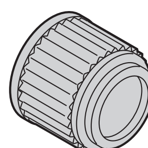
□ スタンド................................ 1個



□ 防水ゴムA............................ 1個
（本体と0.2 m屋外LANケーブル用）

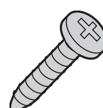


□ 防水キャップ........................ 1個



□ ねじ

ねじA（4 mm×20 mm）
（VL-CM140/VL-CM160）
....11本
（VL-CM140KT/VL-CM160KT）
....15本



ねじB（2.6 mm×10 mm）
.... 1本
（本体と安全ワイヤー取り付け用）



全製品共通（つづき）

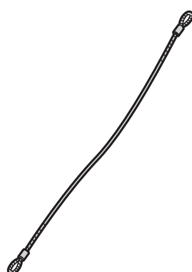
☐ **ワッシャー（大）**................ 1個
（壁側での安全ワイヤー固定用）



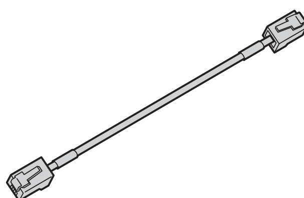
☐ **ワッシャー（小）**................ 1個
（本体側での安全ワイヤー固定用）



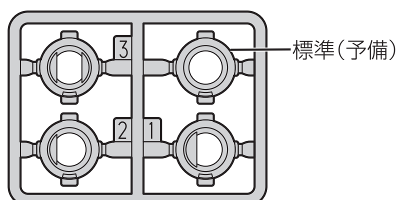
☐ **安全ワイヤー**........................ 1本
（長さ 約0.3 m）



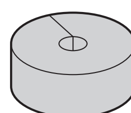
☐ **屋外LANケーブル**............... 1本
（長さ 約0.2 m）



☐ **センサー範囲調整キャップ**
.... 1式

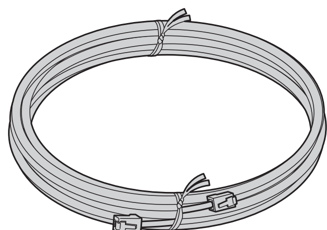


☐ **防水用スポンジ**...................... 1個

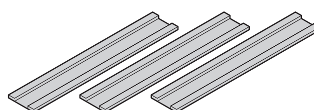


VL-CM140KT/VL-CM160KTのみ

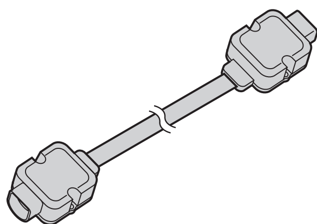
☐ **屋外LANケーブル**................ 1本
（長さ 約8 m）



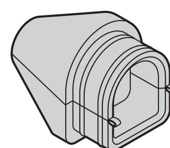
☐ **両面テープ** 3枚
（すきま用LANケーブル用）



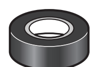
☐ **すきま用LANケーブル**........ 1本
（長さ 約0.5 m）



☐ **防水ゴムB** 1個
（すきま用LANケーブルと8 m屋外LANケーブル用）



☐ **自己融着テープ**..................... 1個



添付品（全製品共通）

☐ **取扱説明書**.. 1冊
☐ **登録ガイド**.. 1部
☑ **設置説明書（本書）** 1冊
☐ **セットアップCD-ROM**...................... 1枚
（セットアップソフトウェア）

☐ **保証書** 1式
☐ **カメラ作動中ステッカー**.................... 1枚
☐ **QRコードシール**
（本体の背面にはり付け） 1枚
☐ **みえますねっとLiteガイド**................. 1枚

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告

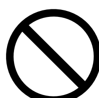
本製品を壁に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける



落下により、けがの原因になります。

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない

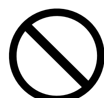
（石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm 以下のベニヤ板など）



禁止

落下により、けがの原因になります。

センサーキャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

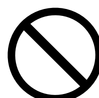


禁止

誤って飲み込む恐れがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

設置・配線工事の際の壁や天井への穴あけや、AC アダプターのコードやケーブルを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない

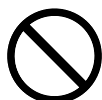


禁止

漏電・感電・火災などの原因になります。

⚠警告

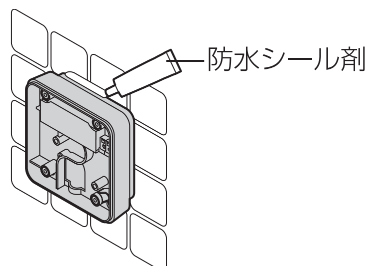
配線工事は、安全・確実に行う


禁止

誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

スタンドと取付面についてはスタンド下部以外をコーキングし、すきまを埋める

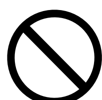
（スタンド外周部と取付面のすきまに、防水シール剤などを塗る）





防水が不完全な場合、機器の故障や設置する家屋の壁中に水が浸入する原因になります。

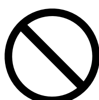
雷のときは配線工事をしない


禁止

火災・感電の原因になります。

AC アダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

（ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ケーブルの接続時は、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行う

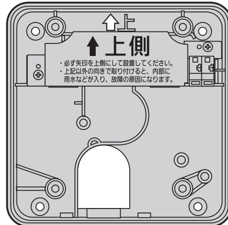


火災・感電の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

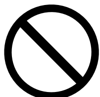
スタンドは「⬆上側」の表示が上側になるように取り付ける





上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、機器の故障の原因になることがあります。

土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない



禁止

絶縁劣化により、感電の原因になることがあります。

土中埋設配線する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする



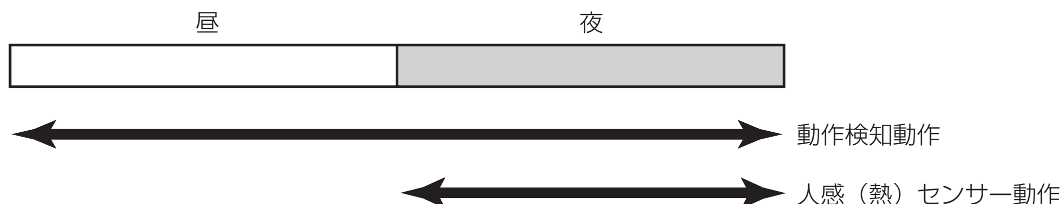
感電の原因になることがあります。

設置上のお願い

動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置してください。

動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性

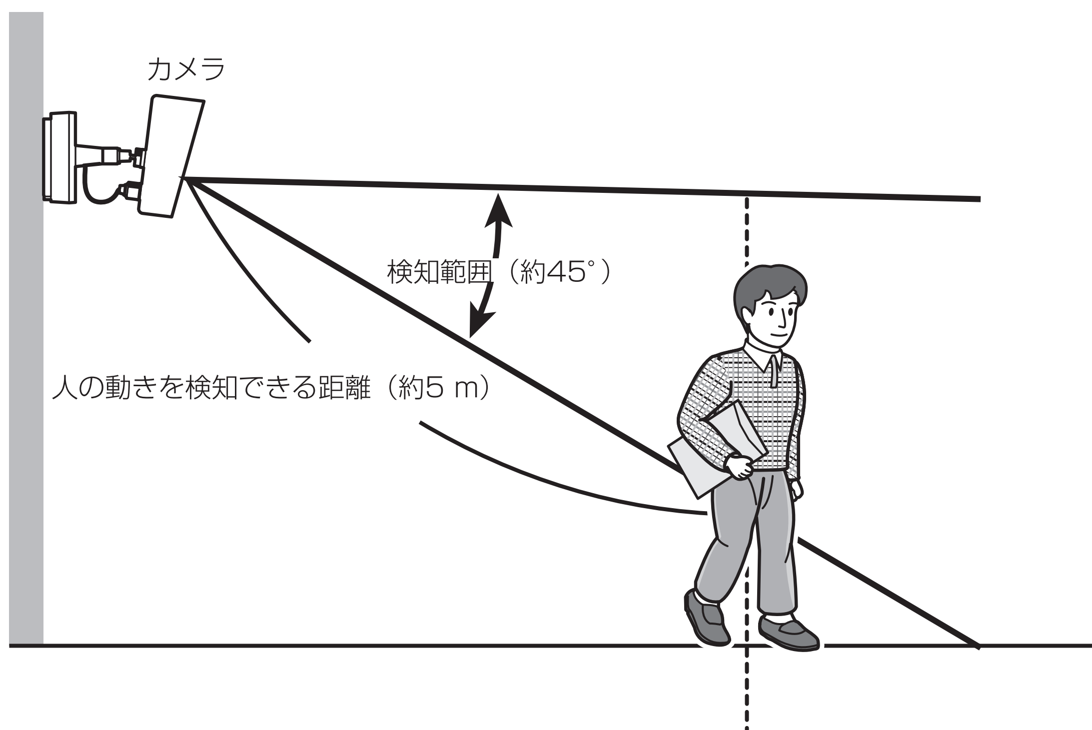
動作検知および人感(熱)センサーの動作は、昼と夜で異なります。



● 昼夜の判断は、画像の明るさに応じてカメラが自動で行います。

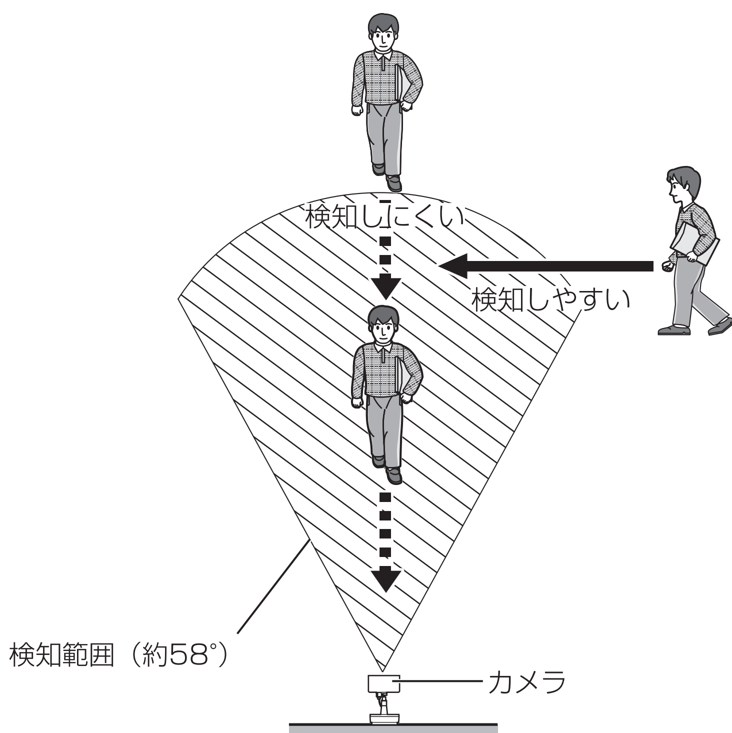
動作検知について

カメラが撮影した画像内の変化を検知します。



● 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。
● 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合があります。
● LEDライトの点灯/消灯の直後最長2秒間は、動作検知が動作しません。
（VL-CM160/VL-CM160KTのみ）

動作検知の特性（検知しやすい向き、検知しにくい向き）



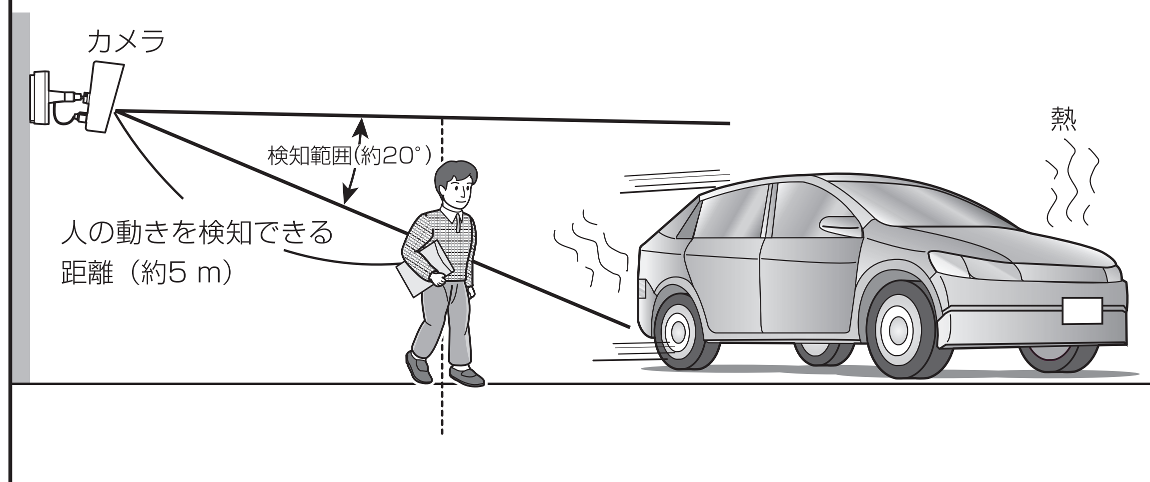
- 暗くなると検知しにくくなります。
- 動作検知機能は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。
- センサー検知の間隔は約1分です。検知後の約1分間は、次の検知を行いません。（「みえますねっとLite」を除く）

人感(熱)センサーについて

人や動物などの温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。（車のマフラーやボンネットなどの外気温との差が大きいものにも反応します）

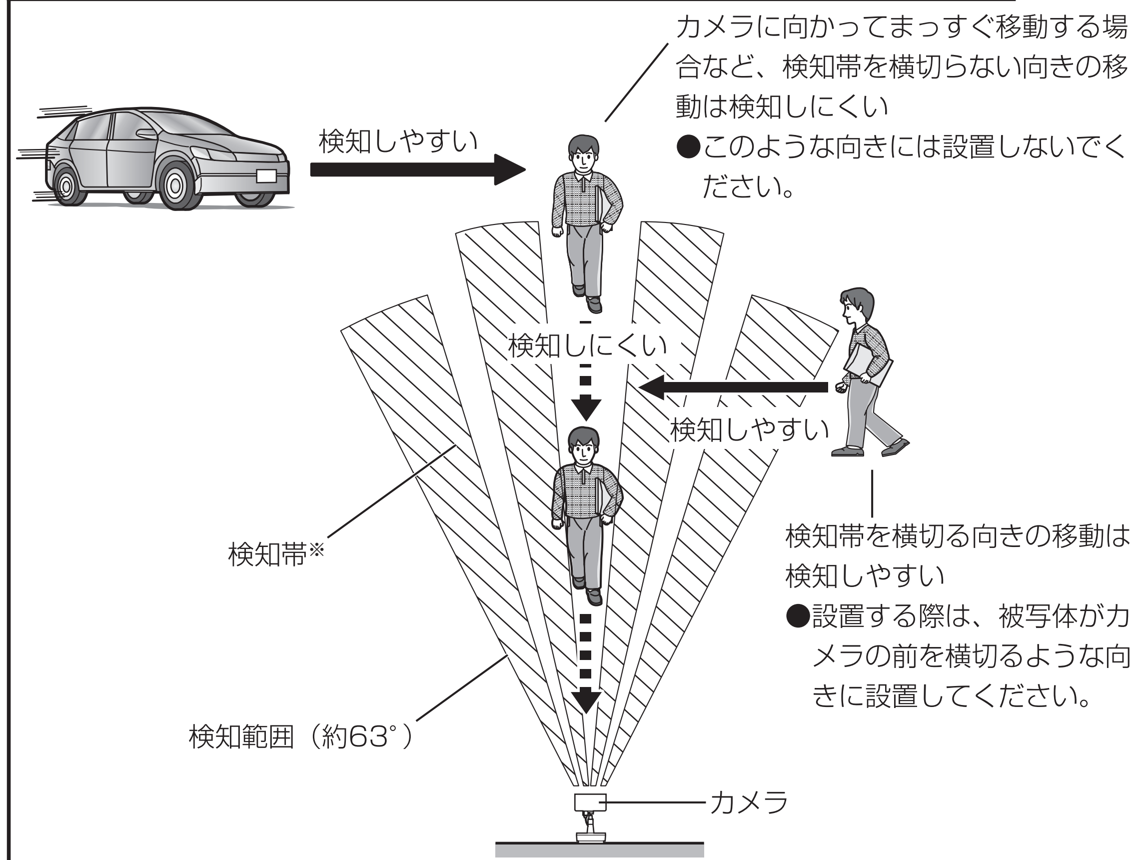


人感(熱)センサーの検知範囲（周囲の温度が約 20 ℃のとき）



- 夏場など外気温が高いときは、被写体（人の体温など）との温度差が小さくなり、センサー検知しにくくなります。
  逆に、夜間や冬場など外気温が低くなったときは、温度差が大きくなるため、センサー検知しやすくなります。
- カメラで撮影したい方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。設置例1または2（☞ 18～19 ページ）をご覧のうえ、カメラの撮影方向に道路がこないようにしてください。

人感(熱)センサーの特性(検知しやすい向き、検知しにくい向き)(周囲の温度が約 20 ℃のとき)



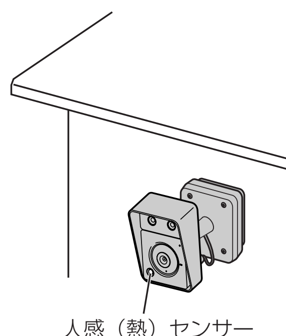
- 暗いときにのみ、動作します。

※熱を検知する帯で、人感(熱)センサーから複数本出ています。
この検知帯域に熱源（人や車など）が出入りすると、温度変化が発生します。
センサーはその温度変化を検知して動作します。
上図の破線矢印（■■■■➡）のように、カメラに向かってまっすぐ移動すると、検知帯への出入り口が少ないために検知しにくくなります。

- センサー検知の間隔は約1分です。検知後の約1分間は、次の検知を行いません。（「みえますねっとLite」を除く）

設置するとき

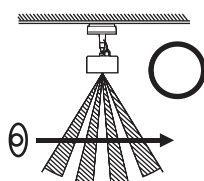
本製品は軒下など直射日光や風雨が直接あたりにくい場所に設置してください。
また、設置の際は、次の点にご注意ください。

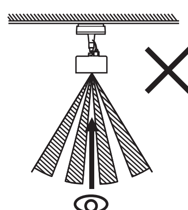


- ご使用上のお願い(☞ 取扱説明書)を確認してください。
- 天井には、取り付けないでください。
- カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。

〔人感(熱)センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。**詳しくは、14 ページを参照してください。**〕

〔カメラを上から見たとき〕

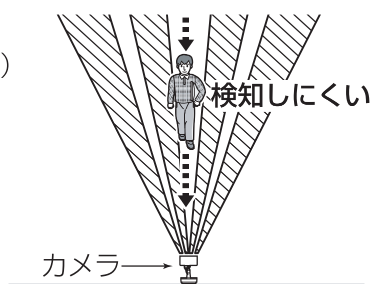




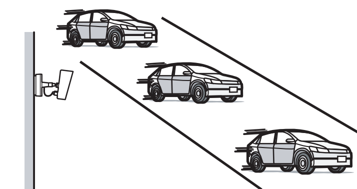
- カメラの向きは、人感(熱)センサーが必ず下側になるように取り付けてください。
(逆さに取り付けると、画像が逆になります。)
- 隣家と近接した場所に設置するときは、LEDライトの光(VL-CM160/VL-CM160KTのみ)が隣の家に迷惑をかけないようにカメラ角度を調整してください。

こんなところには設置しない（誤動作、変形、故障の原因）

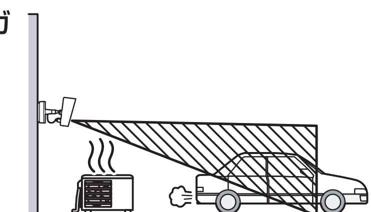
● **真正面から人物が近づいてくるような場所**
（狭い通路などで、人が真正面から近づいてくるような場所）
➔ 12、14 ページを参照してください。



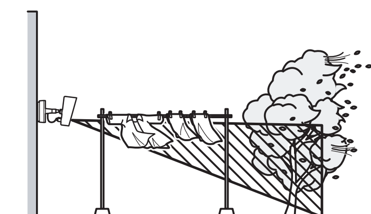
● **車の交通量が多い道路がある場所**
（約5 m以上離れていても、車にはセンサー反応します。）



● **換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や、車の排気ガスなどの影響を受ける場所**
（急激な温度変化により、誤検知しやすくなります。）

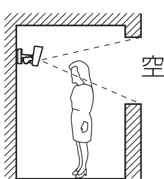


● **風などで動くような植木、洗濯物などがある場所**
（温度変化により、誤検知しやすくなります。）

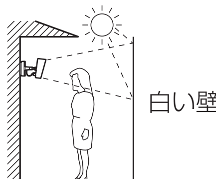


● 直射日光があたる場所や外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
● 振動・衝撃や、反響の多い場所
● 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
● 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
● 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
● 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
● 硫化水素、リン、アンモニア、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所
● 海岸の近くや直接潮風があたる場所、温泉地の硫黄環境
（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
● 昼間でも木陰などで影になったり、夜でも外灯で明るくなるなど、明るさが変わりやすい場所
● 下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、判別しにくくなります。）

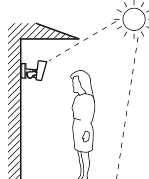
マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所



正面に、直射日光が反射する白壁がある場所

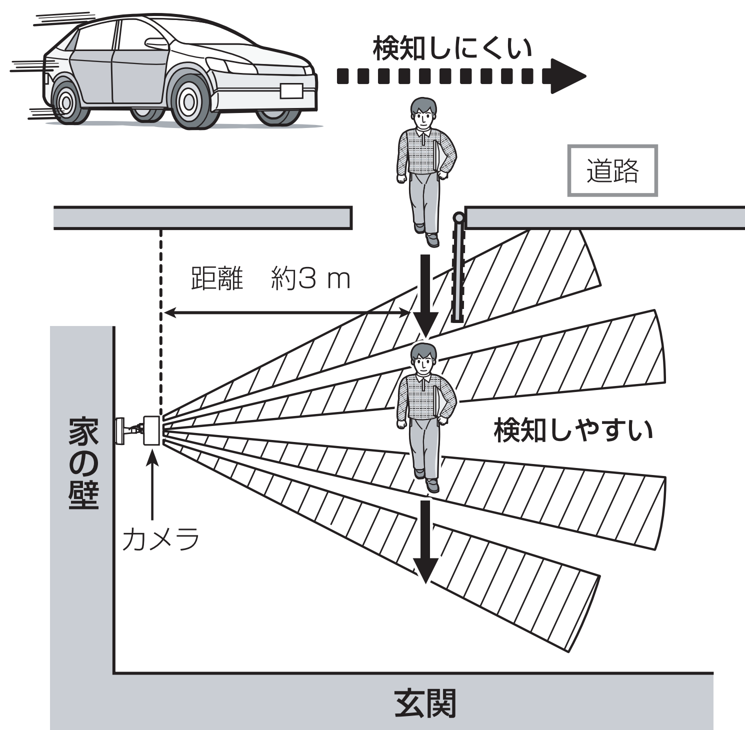


直射日光が当たるような、明るい場所



推奨する設置位置

上から見た場合

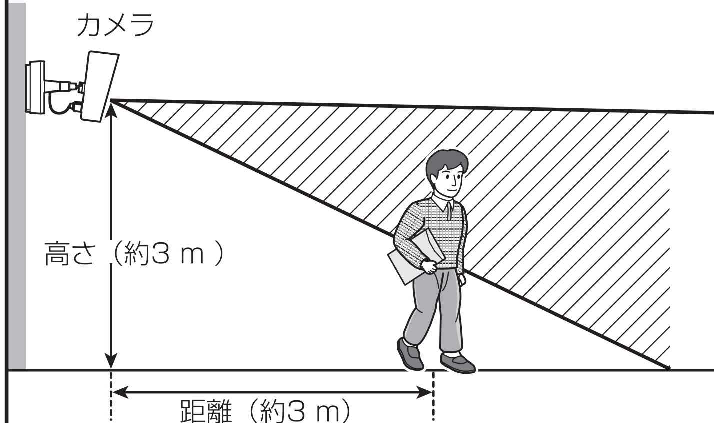


門からの侵入者は検知しやすく、前の道路を通る人や車は検知しにくい

［センサーの検知範囲を調整することもできます。(☞ 34 ページ)］

● ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき(☞ 18、19 ページ)

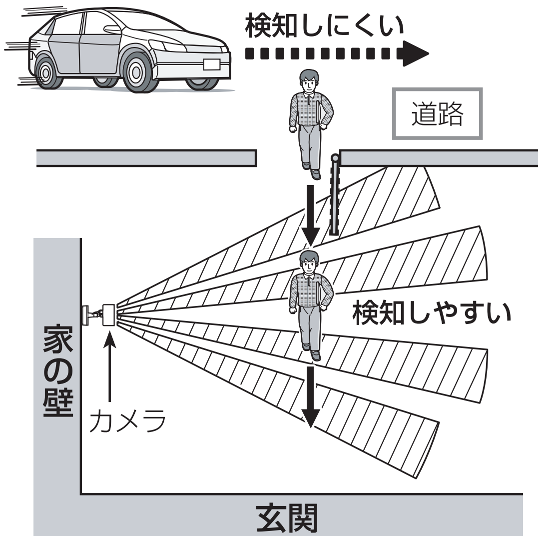
横から見た場合



設置例

設置例1　玄関口（門）から入ってくる人を検知したいとき

良い例

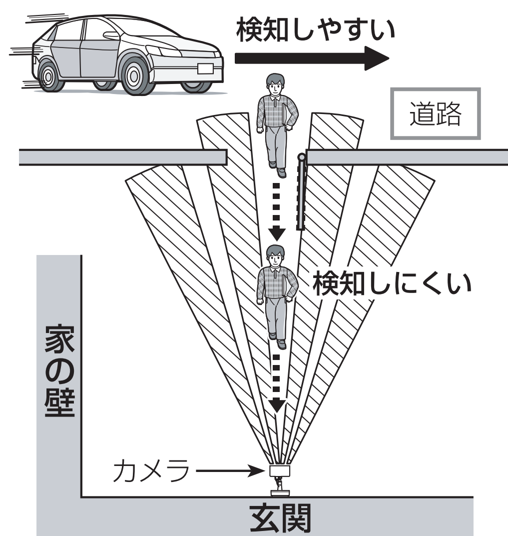


門からの侵入者は検知しやすく、前の道路を通る人や車は検知しにくい

〔センサーの検知範囲を調整することもできます。（☞ 34 ページ）〕

● ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき（☞ 下記）

悪い例

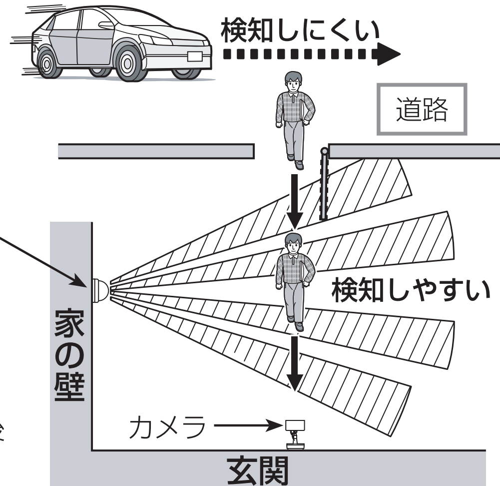


前の道路を通る人や車は検知しやすく、門からの侵入者は検知しにくい

設置参考例（市販の外部人感センサーを使用する）

本機と、外部人感センサーを下図のように設置すると、門からの侵入者を検知してさらに正面から映すことができます。

外部人感センサー（推奨品：動作確認済み） 竹中エンジニアリング（株）製 品番：MS-100A （AC100 V 配線が必要）

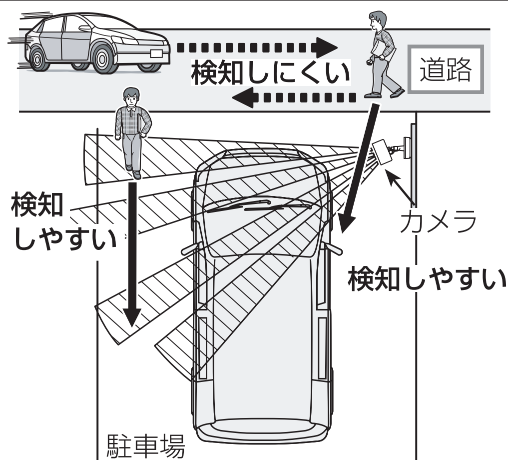


● 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。
● 外部人感センサーを使用する場合、本機と接続後「センサー選択設定」の設定変更が必要です。※（☞ 取扱説明書）

※ ただし、本機のセンサーは、はたらきません。

設置例2　駐車場の中に入ってくる人を検知したいとき

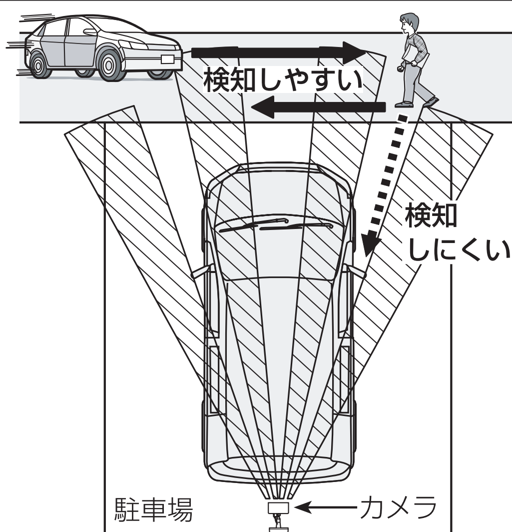
良い例



駐車場への侵入者は検知しやすく、駐車場前を通る人や車は検知しにくい
（センサーの検知範囲を調整することもできます。（☞ 34 ページ））

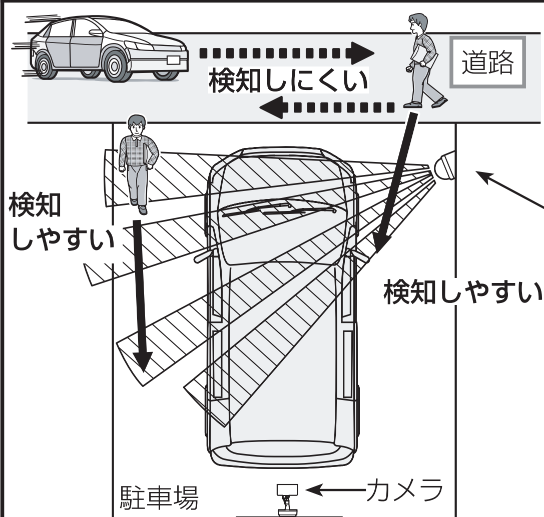
- 車高の高い車の場合は、侵入者の顔がカメラから映るようにカメラを設置してください。侵入者が車に隠れてしまい検知できないことがあります。
- ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき（☞ 下記）

悪い例



駐車場前を通る人や車は検知しやすく、駐車場への侵入者は検知しにくい

設置参考例（市販の外部人感センサーを使用する）



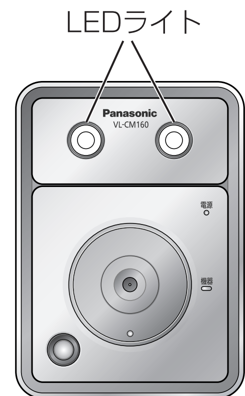
本機と、外部人感センサーを下図のように設置すると、駐車場への侵入者を検知してさらに正面から映すことができます。

外部人感センサー（推奨品：動作確認済み）
竹中エンジニアリング（株）製
品番：MS-100A
（AC100 V 配線が必要）

- 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。
- 外部人感センサーを使用する場合、本機と接続後「センサー選択設定」の設定変更が必要です。※（☞ 取扱説明書）
  ※ただし、本機のセンサーは、はたらきません。

LEDライトの明るさについて

**■ LEDライトは、センサー検知時の威嚇用です。
（VL-CM160/VL-CM160KTのみ）**



人などの動きを検知するとLED ライトが点灯しますが、照明用の光量はありません。
（LEDライトの光量：正面3 mで約8.5ルクス、正面から左右20°/3 mで約2.5ルクス）

明るさ、距離の違いによる画像について

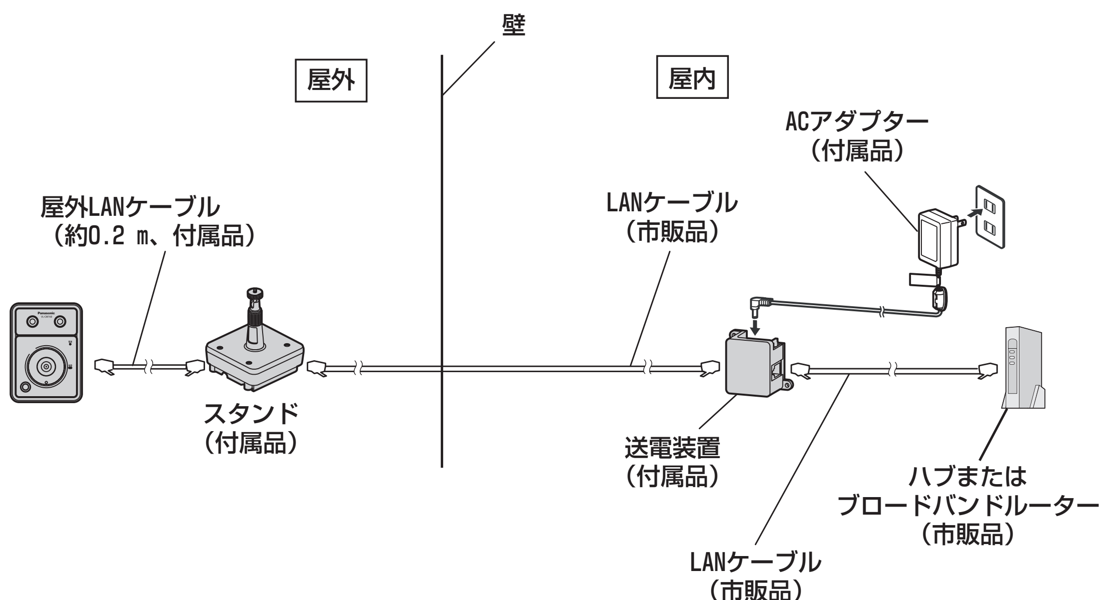
次の場合は、人の顔が判別しにくくなります。

- 昼間など明るいときでも、カメラから約3 m以上離れたとき
  ただし、撮影時の被写体の場所（日陰・逆光・撮影角度など）によっては、3 m以内でも映りが悪くなり、人の顔が判別しにくくなります。
- 夕方や夜間など、周りが暗いとき（画質が低下します）
- 動いている人の撮影では画像がぶれるため、顔の判別が難しくなります。

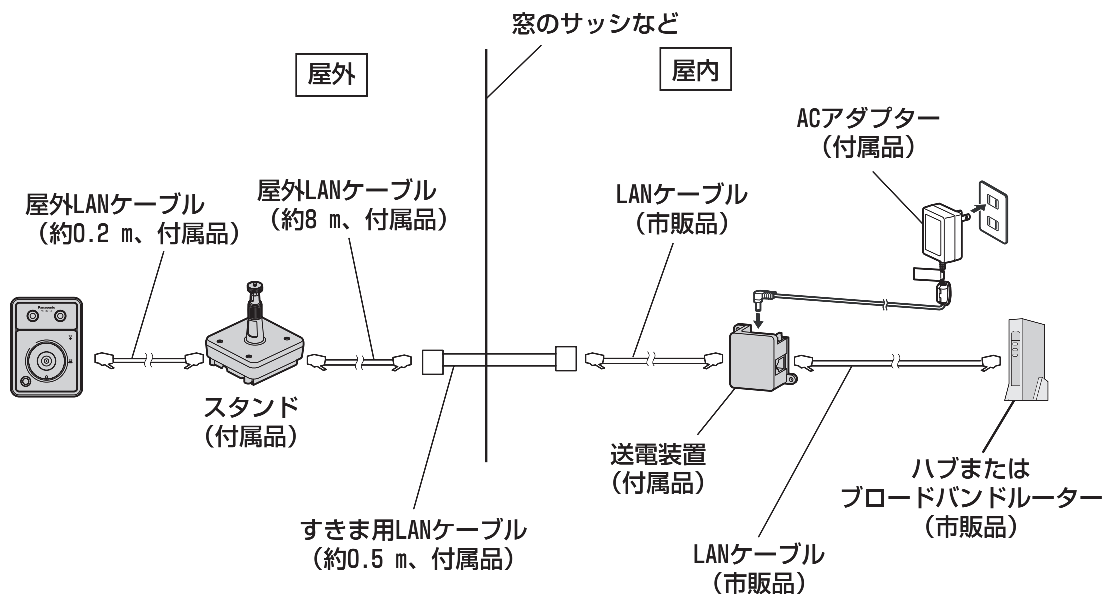
配線のながれ

VL-CM140/VL-CM160と、VL-CM140KT/VL-CM160KTでは、配線の方法が異なります。
次の図を参考に接続してください。

■VL-CM140/VL-CM160を使用する場合



■VL-CM140KT/VL-CM160KTを使用する場合



お知らせ

- カメラからLANケーブルを取り外す場合は、45 ページを参照してください。
- LANケーブルは、下記仕様の市販品をお買い求めください。
  LANケーブル: カテゴリー5以上、ストレートケーブル

カメラを設置する

お願い

- 設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分については、必ず防水加工してください。
- カメラ本体と送電装置までの総配線距離は**30 m**以内となるようにしてください。
- 各機器に登録するときに、電源を入れ直す必要がありますので、送電装置は手の届く場所に設置してください。
- 本体背面にはり付けられているQRコードは、必ず本体からはがして大切に保管してください。

カメラを取り付ける

1 カメラ本体の設置場所を決める

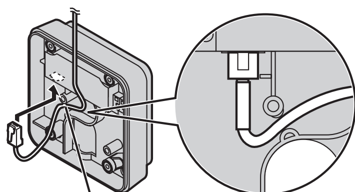
以下の点に留意し、カメラ本体の設置場所を決めてください。

- カメラ本体から送電装置までの総配線距離が**30 m**以内であること。
  VL-CM140KT、VL-CM160KTの場合、付属の屋外LANケーブルは8 mです。8 m以上必要な場合は市販の屋外対応LANケーブルを別途準備してください。
- カメラ本体の近くに熱源となるもの(給湯器、エアコン室外機など)が無いこと。(カメラ本体の近くに熱源があると、人感(熱)センサーの誤動作の原因になります。)
- 人感(熱)センサーや動作検知のしくみについて、11 ～ 14 ページをよくお読みになった上で設置場所を決めてください。
- VL-CM140KT、VL-CM160KTの場合、すきま用LANケーブルはサッシ以外では使えません。また、雨戸やシャッターなどがある窓でも使えません。
- カメラを仮設置した後に動作を確認し、配線と設置を行ってください。

2 スタンドカバーを外す

3 屋外LANケーブル(長さ約0.2 m)をスタンド左側の「データ／電源出力」端子に接続し、図のようにケーブルを押し込む

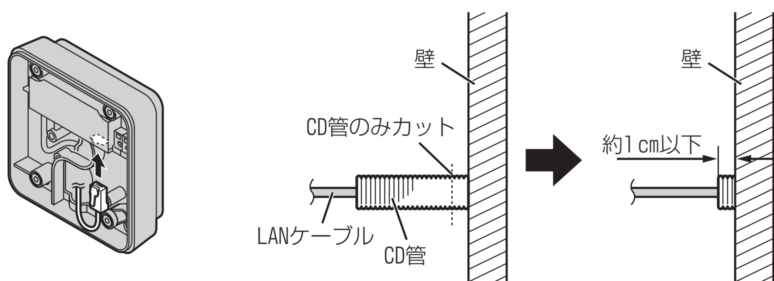
- 必ず付属のLANケーブルを使用してください。他のケーブルを使用すると、カメラに水が浸入するなど、故障の原因となります。



4 LANケーブルをスタンド右側の「データ/電源入力」端子に接続する

■ VL-CM140/VL-CM160の場合

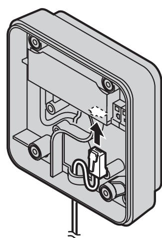
壁に開けた穴にLANケーブルを通し、スタンド背面よりスタンド右側のデータ/電源入力端子に接続してください。
CD管を使用している場合は、CD管が取付け面より約1 cm以下程度の出っ張りとなるよう処理してください。



● LANケーブルにコネクターが接続されていない場合、ぐっとすコード(別売品・松下電工(株)製、型番：WTJ8901)を使用すると便利です。詳しくは、ぐっとすコードの取扱説明書を参照してください。

■ VL-CM140KT/VL-CM160KTの場合

スタンド下部より付属の屋外LANケーブル(長さ 約8 m)を通し、スタンド右側のデータ/電源入力端子に接続してください。



お願い

● LANケーブルは直接カメラに接続せずに、必ずスタンドの端子に接続してください。直接接続した場合、「センサー選択設定」で「外部センサーを使う」を選択し、センサーの検知状態表示設定を「文字を表示する」に設定すると「E」の文字が常に表示されます。

5 (外部入力機器がある場合のみ)配線材を接続する

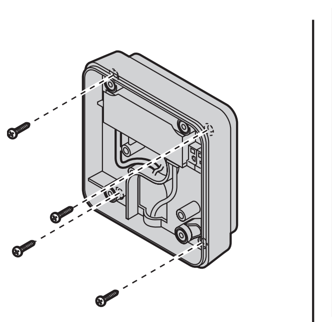
❶ **「センサー選択設定」の設定を確認する(☞ 取扱説明書 70 ページ)**

❷ **「外部入力端子」に配線材を接続する**

● 外部センサーを使用する場合は、センサーを外部入力端子に接続してください。「外部入力端子について」(☞ 32 ページ)に従って正しく接続してください。
● 配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

6 スタンドを壁面に確実に取り付ける

●ねじA（4本：4 mm×20 mm）で取り付けてください。
壁（モルタル・コンクリート）への取り付け例（☞ 26 ページ）

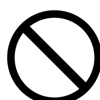




警告

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない

（石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm 以下のベニヤ板など）

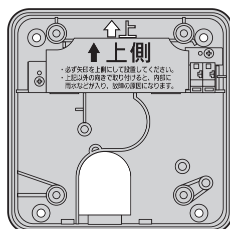

禁止

落下により、けがの原因になります。



注意

スタンドは「⬆上側」の表示が上側になるように取り付ける



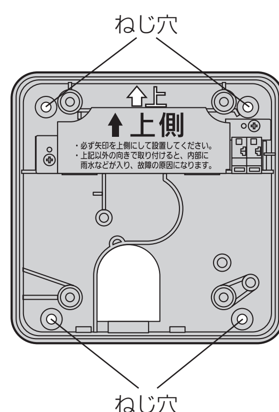


上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、機器の故障の原因になることがあります。

■ 壁への取り付け例

(例)材質がモルタルやコンクリートの場合

設置したい位置が決まったら、市販のドリルと専用のアンカー(ねじの呼び径4.0 mm)を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。

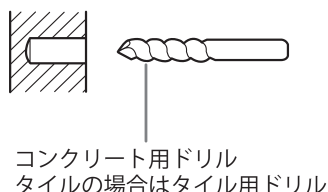


❶ **スタンドを設置したい位置に合わせ、ねじ穴から印を付ける(4カ所)**

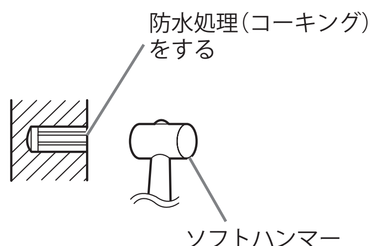
❷ **安全ワイヤーを取り付ける位置に印を付ける(1カ所)**

❸ **印に合わせて下の図のようにドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたく**

1. アンカーのサイズに合わせて、穴をあける



2. アンカーを差し込む(ソフトハンマーで軽くたたく)

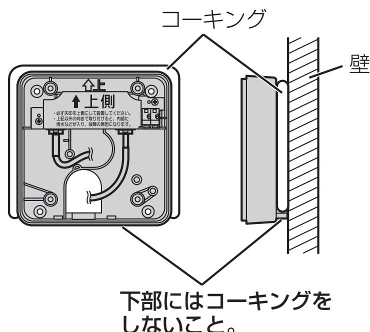


❹ **カメラを設置する**

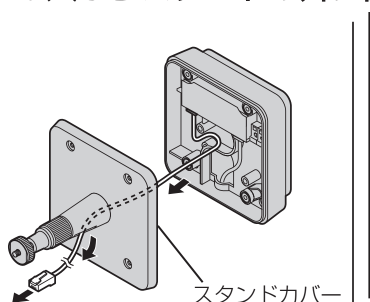
お願い

- 壁にあけるドリルの径の大きさは、用意したアンカーの説明書を参照してください。
- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

7 スタンドをコーキングする

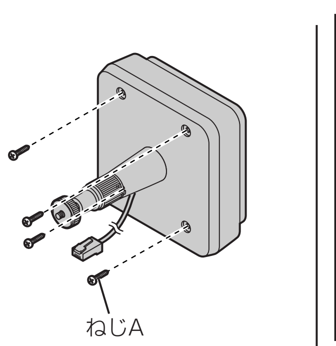


8 屋外LANケーブル(長さ約0.2 m)をスタンドカバー中央の穴に通し、下部の穴からスタンドの外に出す

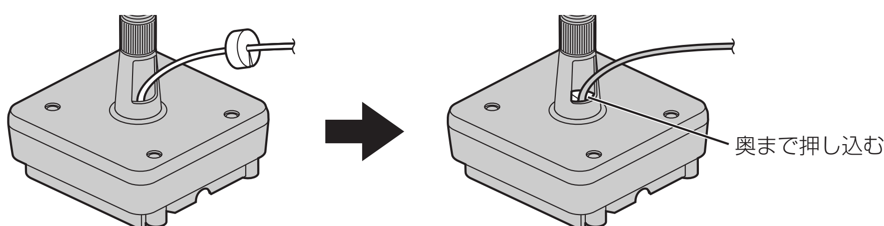


9 スタンドカバーを取り付ける

● ねじA(4本:4 mm×20 mm)で4ヵ所固定してください。

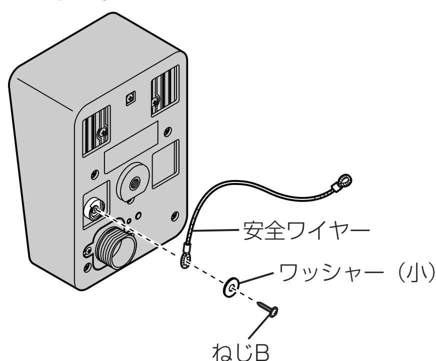


10 防水用スポンジを屋外LANケーブル(長さ約0.2 m)に差し込み、スタンドカバー中央の穴の中に押し込む



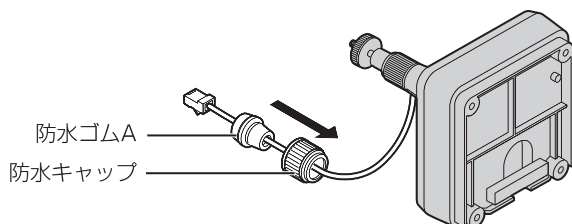
11 カメラに安全ワイヤーを取り付ける

● ねじB(1本:2.6 mm×10 mm)とワッシャー(小)で安全ワイヤーを取り付けてください。



12 防水キャップ、防水ゴムAをLANケーブルに取り付ける

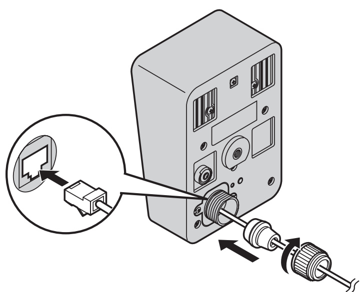
●防水ゴムAにはスリットがついています。スリットから防水ゴムAを差し入れてください。



13 LANケーブルをカメラに接続し、防水ゴムA、防水キャップを差し込む

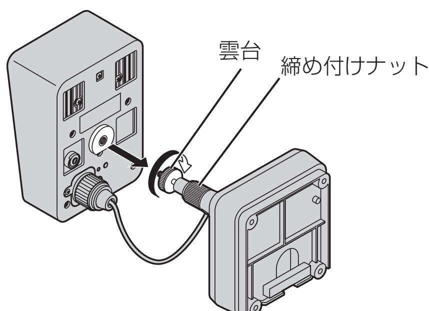
●LANケーブルを接続するときは、「カチッ」という音がするまで差し込んでください。

●防水キャップは、最後まできちんと締めてください。



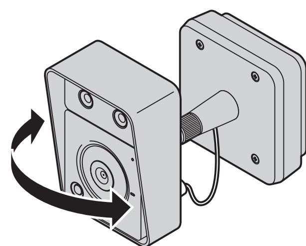
14 カメラを雲台に取り付ける

●角度を調整するとき、雲台の締め付けナット(スタンド側)を少し緩めると、角度の調整がしやすくなります。カメラの角度を調整後、雲台の締め付けナット(スタンド側)は最後まできちんと締めてください。



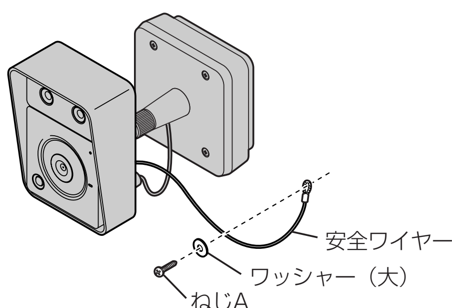
15 カメラの角度を調整する

●図のように、ケーブルを下方向にたるませてください。



16 安全ワイヤーをねじAとワッシャー(大)で壁に取り付ける

- 壁の材質がモルタルやコンクリートの場合は、アンカーを使用し、確実に固定してください。(☞ 26 ページ)



お 願 い

- スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。

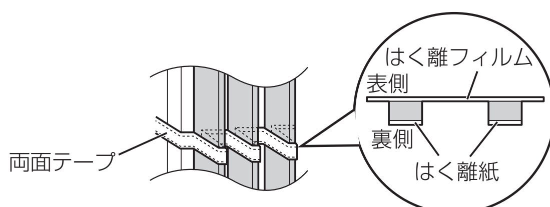
VL-CM140/VL-CM160の場合は、屋外側でのカメラの取り付けはここで完了です。「屋内側のケーブル配線」(☞ 31 ページ)へ進んでください。

VL-CM140KT/VL-CM160KTの場合は、すきま用LANケーブルを設置します。手順17へ進んでください。

■ VL-CM140KT/VL-CM160KTの場合のみ

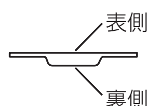
17 すきま用LANケーブルをサッシに取り付ける

❶ 両面テープ(付属品)裏側のはく離紙をはがし、ケーブルを取り付けたい場所にはる

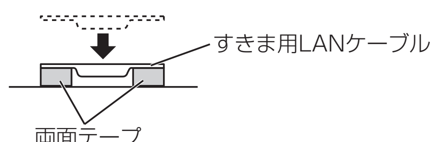


- 両面テープは、開閉回数の少ないサッシに取り付けてください。
- 防犯上、すきま用LANケーブルは高いところに取り付けることをお勧めします。
- すきま用LANケーブルは、鋭利な形状の物が接触する場所や、強い負荷のかかる場所には設置しないでください。
- すきま用LANケーブルは、雨戸やシャッターなどがある窓には取り付けできません。

❷ すきま用LANケーブル裏側を、両面テープ表側に合わせた後、しっかり折り曲げて形づけをする

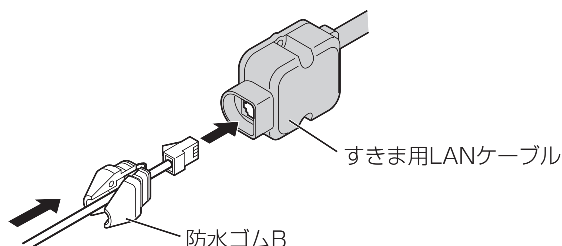


❸ 両面テープ表側のはく離フィルムをはがし、図のようにすきま用LANケーブルの裏側を両面テープにはり付ける

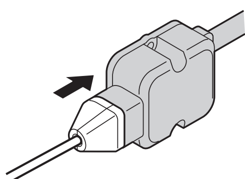


18 屋外LANケーブル（長さ：約8 m）をすきま用LANケーブルに接続する

❶ 屋外LANケーブル（長さ：約8 m）を防水ゴムBに通し、すきま用LANケーブルの「データ/電源」端子に差し込む

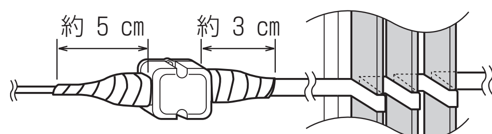


❷ 防水ゴムBをすきま用LANケーブルの接続部に差し込む



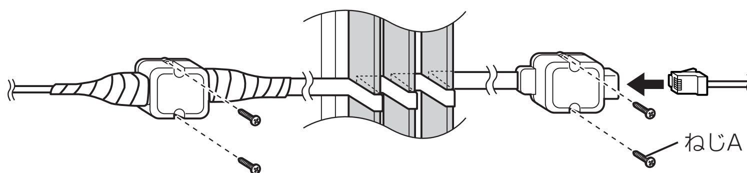
19 屋外側のすきま用LANケーブルの接続部（２カ所）を自己融着テープで巻く

● テープを巻くときは、テープを2倍の長さまで引き伸ばして、重ねて巻いてください。

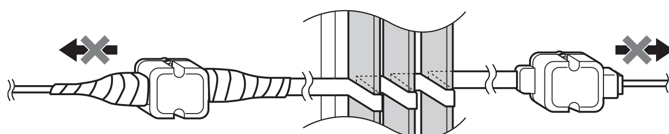


20 必要に応じて、すきま用LANケーブルの両端をねじAで固定する

● 必要に応じて、すきま用LANケーブルの両端をねじA（4本：4 mm×20 mm）で固定し、屋内側のLANケーブル（市販品）を接続してください。
● アンカーを使用する場合は、26 ページを参照してください。

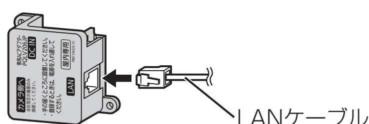


● 両端のLANケーブル接続部は引っ張られないように配線処理してください。



屋内側のケーブル配線

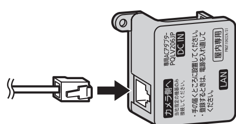
1 家庭内LAN側のLANケーブルを、送電装置の「LAN」端子に差し込む



- 送電装置を家庭内LANに接続するためのLANケーブルは付属品には入っておりません。お客様ご自身で用意してください。
- 送電装置は、ねじA(4 mm×20 mm)を2本使用して固定することもできます。

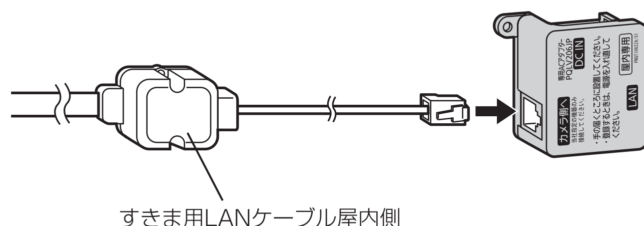
2 カメラ側からのLANケーブルを、送電装置の「カメラ側へ」端子に差し込む

■ VL-CM140/VL-CM160の場合



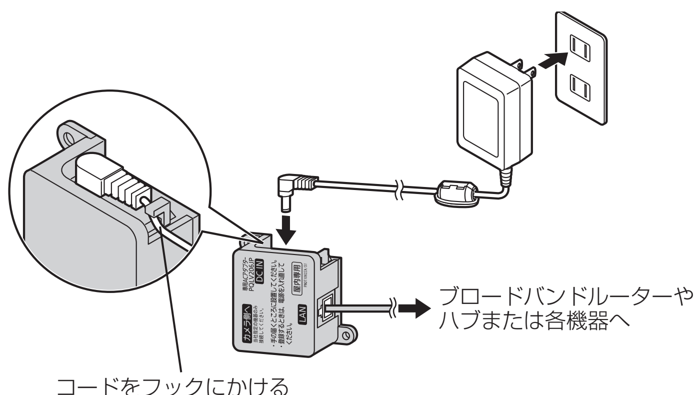
■ VL-CM140KT/VL-CM160KTの場合

すきま用LANケーブルの屋内側に接続したLANケーブルを送電装置の「カメラ側へ」端子に差し込む



3 ACアダプターを送電装置に接続し、ACアダプターのプラグを、コンセント(AC100 V)に差し込む

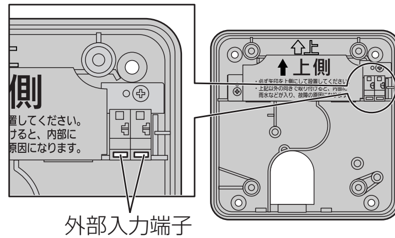
- カメラが起動します。



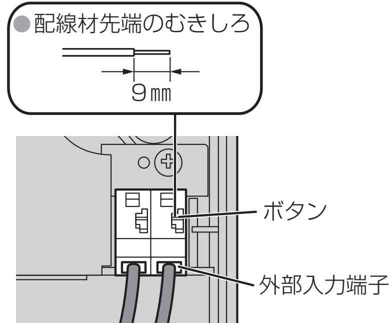
外部入力端子について

外部入力端子があります。必要に応じてご使用ください。

● 端子への接続は、電源を切り、カメラをスタンドから外した状態で行ってください。



● 配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。



外部入力端子

本機の人感(熱)センサーを使わず、下記のような外付けの人感センサーを使うときに使用します。

外部人感センサー(推奨品：動作確認済み)

竹中エンジニアリング(株)製	品番：MS-100A(AC100 V 配線が必要)

● 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。

● 設置位置の参考例は、18 ～ 19 ページを参照ください。

● この端子に機器を接続したときは、カメラの「センサー選択設定」の設定を「外部センサーを使う」に変更してください。(取扱説明書☞ 70 ページ)本機の人感(熱)センサーおよび動作検知は、動作しなくなります。

外部入力端子の仕様

端子を短絡すると検知します。(a接点)

開放時電圧：約3 V

短絡時電流：約0.6 mA(短絡/開放 連続0.2 秒以上で検知)

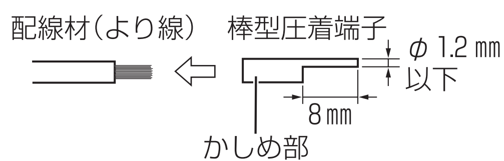
線種と配線距離

下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。

配線区間	線種	配線距離
外部入力端子～接続機器	単芯線(mm)：ϕ0.4～ϕ1.6	接続する機器の仕様に従う(ただし、20 m 以内)

お願い

● 配線材の線種が「より線」の場合は、棒型圧着端子（市販品）を取り付けてから接続してください。（配線材の隣りどうしがショートしないようにしてください。）



センサーの検知範囲／感度を調整する

動作検知・人感(熱)センサー・外部センサーの検知状況を「設置確認画面」で確認します。また、必要な場合は検知の範囲や感度を調整することができます。

設置確認画面で確認する

撮影角度の確認を行います。「設置確認画面」を選択し、画面の表示が目的の場所を撮影しているかどうかを確認します。（取扱説明書☞ 72 ページ）
もし、ずれている場合はカメラの角度を調整してください。（☞ 28 ページ）



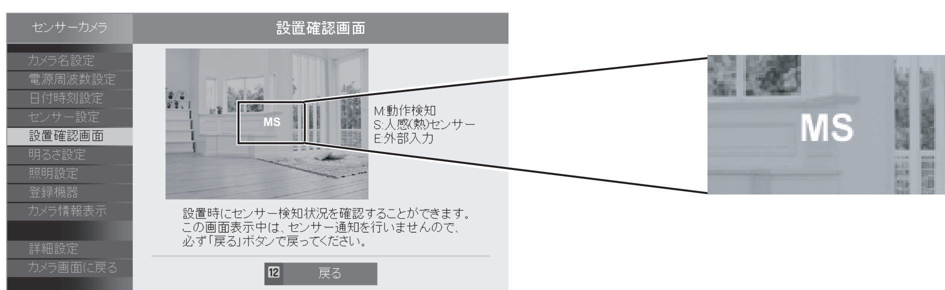
逆光・明るさの調整ができます。「明るさ設定」を選択し、調整してください。（取扱説明書☞ 73 ページ）

検知範囲を調整する

「設置確認画面」でセンサーの検知状況を確認することができます。
（取扱説明書☞ 72 ページ）

- 検知したセンサーの種類によって、画面中央に、次の文字を表示します。
  M：動作検知
  S：人感(熱)センサー検知
  E：外部センサーの検知
- センサー検知すると、VL-CM160/VL-CM160KTはLEDライトが点滅し、VL-CM140/VL-CM140KTは機器インジケーターが赤点滅します。

この機能を使って、検知させたい被写体で正しく検知し、検知させたくない被写体での誤検知がないように調整します。



1 検知させたい被写体で確認・調整する

- カメラを設置した状態で、検知させたい場所、および人物の進行方向でセンサーが検知するかどうかを確認してください。

■ 正しく検知する場合

手順2に進んでください。

■ 検知しない場合

「動作検知および人感(熱)センサーの感度について」（☞ 39 ページ）を参照し、以下の設定を行ってください。

「設置確認画面」で「S」が表示されない場合

- 「センサー設定」の「人感(熱)センサー感度設定」で人感(熱)センサーの感度を1ランク上げて調整してください。（取扱説明書☞ 70 ページ）
- 人感(熱)センサーの感度を「高感度」に設定しても正しく検知できない場合は、外部センサーを設置してください。（☞ 44 ページ）

「設置確認画面」で「M」が表示されない場合

- 「センサー設定」の「動作検知感度設定」で動作検知の感度を1ランク上げて調整してください。（取扱説明書☞ 70 ページ）

2 検知させたくない被写体で確認・調整する

●道路を行き来する通行人や車など、検知させたくない被写体でセンサーが誤って検知しないかどうかを確認してください。

■ 誤って検知する場合

「動作検知および人感(熱)センサーの感度について」(☞ 39 ページ)を参照し、以下の設定を行ってください。

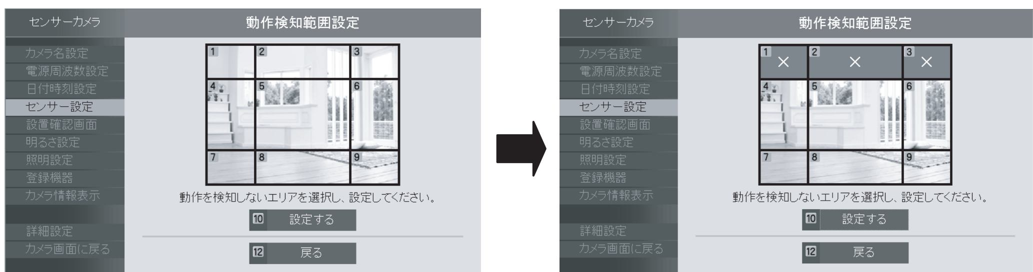
「設置確認画面」で「S」が表示されて誤って検知する場合

● 誤って検知するものの方向をふさぐように、センサー範囲調整キャップを適切な角度で取り付けてください。(☞ 37 ページ)
● 誤って検知するものが人感(熱)センサーの検知範囲からはずれるようにカメラの向きを変えてください。(☞ 28 ページ)
● 「センサー設定」の「人感(熱)センサー感度設定」で人感(熱)センサーの感度を1ランク下げて調整してください。(取扱説明書☞ 70 ページ)
● 人感(熱)センサーの感度を「超低感度」にしても誤って検知する場合は、外部センサーを設置してください。(☞ 44 ページ)

調整が完了したら、手順1にしたがって、検知させたい被写体で正しく検知するかを再度確認してください。

「設置確認画面」で「M」が表示されて誤って検知する場合

● 誤って検知するものの画面上の位置を「動作検知範囲設定」で未検知範囲に指定してください。(取扱説明書☞ 71 ページ)



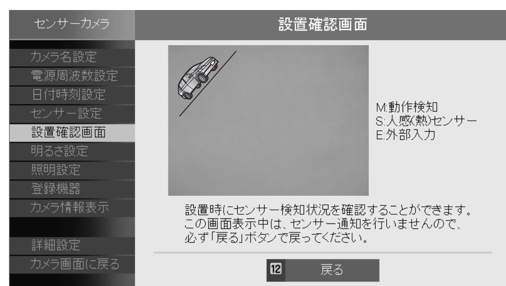
● 「センサー設定」の「動作検知感度設定」で動作検知の感度を1ランク下げて調整してください。(取扱説明書☞ 70 ページ)

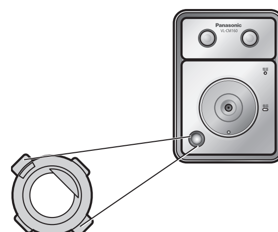
調整が完了したら、手順1にしたがって、検知させたい被写体で正しく検知するかを再度確認してください。

センサーの誤検知を防ぐ

人感（熱）センサーの場合

画面上に車道の車がうつっている場合は、車が映る部分をふさぐようにセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 41 ページ）

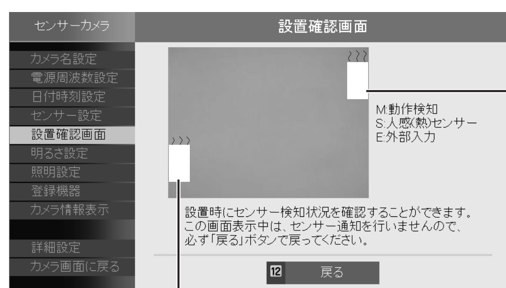




（例１）

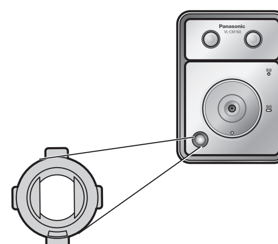
画面の左上に検知させたくない車道の車が映るので、センサー範囲調整キャップ1または2を図のようにカメラから見て左上（カメラに向かって右上）をふさぐ方向で取り付けます。

給湯器やエアコンの室外機のように熱を発するものが画面上にある場合は、その部分をふさぐようにセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 41 ページ）



給湯器室外機

エアコン室外機

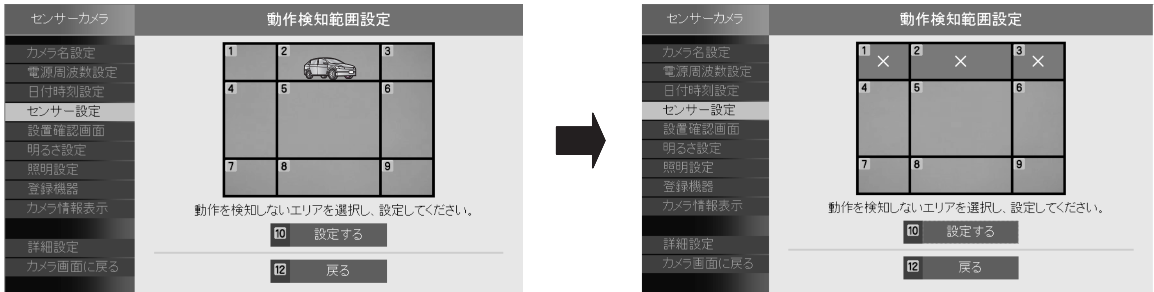


（例２）

画面の右側と左側に検知させたくない給湯器やエアコンの室外機が映るので、センサー範囲調整キャップ３を図のように左右をふさぐ方向で取り付けます。

動作検知の場合

画面上に車道の車がうつっている場合は、車が映る部分をふさぐように「動作検知範囲設定」で未検知範囲に指定してください。（取扱説明書 ☞ 71 ページ）



（例）

画面の上側に検知させたくない車道の車が映るので、「動作検知範囲設定」でブロック1、2および３を未検知範囲に指定します。

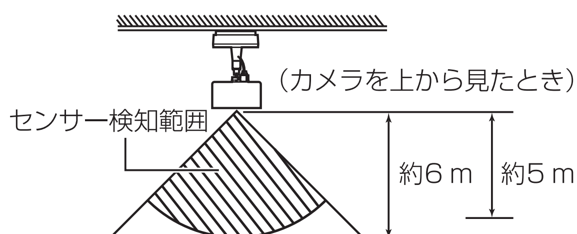
動作検知および人感(熱)センサーの感度について

動作検知の場合

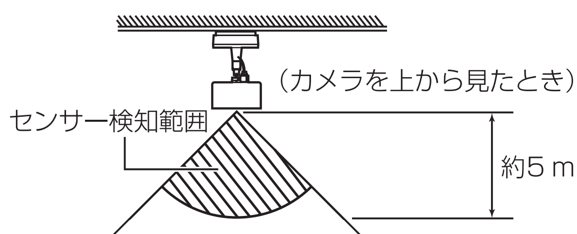
小さな動作を検知したい場合や過度に検知したくない場合などに調整します。

● 動作検知範囲は、あくまでもめやすです。
　被写体の明るさや設置環境により検知範囲が変わります。

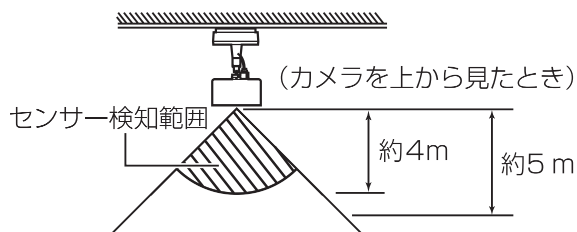
■ 感度設定が「高感度」の場合



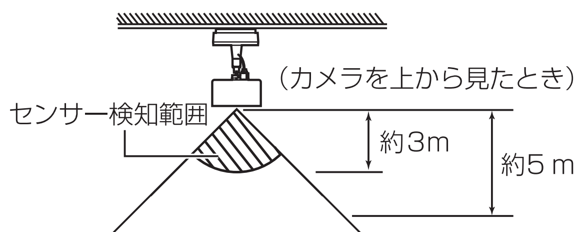
■ 感度設定が「標準」の場合



■ 感度設定が「低感度」の場合



■ 感度設定が「超低感度」の場合



人感(熱)センサーの場合

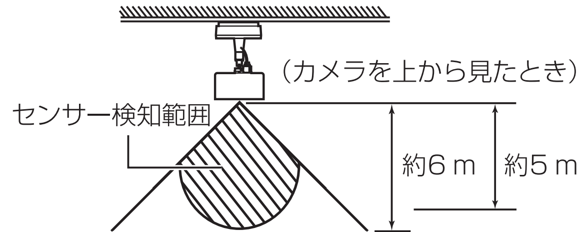
カメラ本体の「人感(熱)センサー感度設定」を変更することにより、以下のようにセンサー検知範囲が変わります。

●センサー検知範囲は、あくまでもめやすです。
　カメラ設置場所の周囲温度や環境により検知範囲は変わります。

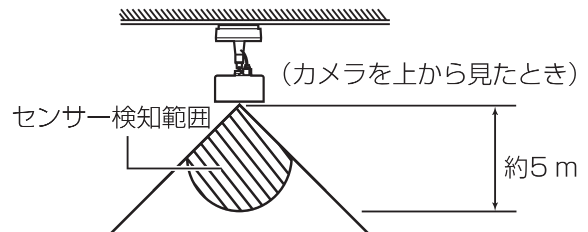
〔周囲温度：20 ℃のとき〕

■感度設定が「高感度」の場合

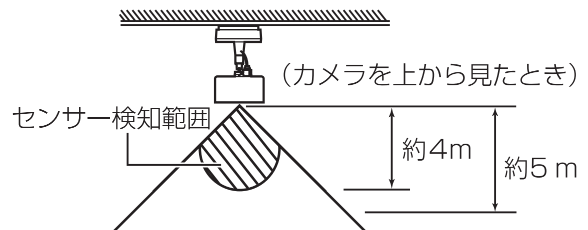
- カメラ設置場所の環境によってセンサーの感度を上げないと使用できないときに設定してください。
- この設定にすると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。



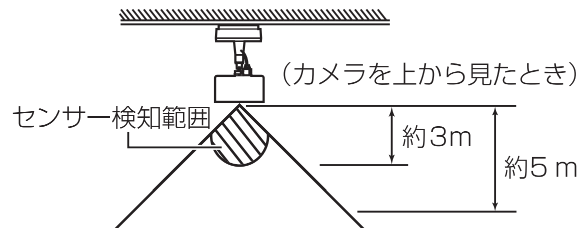
■感度設定が「標準」の場合



■感度設定が「低感度」の場合



■感度設定が「超低感度」の場合



センサー範囲調整キャップについて

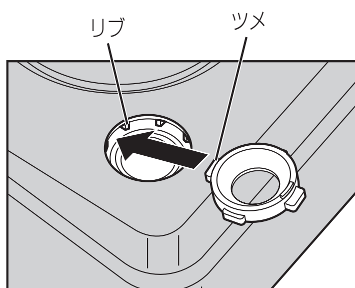
人感(熱)センサーで検知させたくないものがある場合、センサー範囲調整キャップを取り付けることによって、センサーの検知範囲を調整することができます。ただし、カメラ設置場所の周囲温度により検知範囲は変わります。

取り付け方法

センサー範囲調整キャップは、標準(お買い上げ時に本体に装着)、キャップ1、キャップ2、キャップ3の4種類があります。それぞれのキャップは、ふさぐ方向と度合いが異なり、取り付け方向は45°単位で回転させることができます。適切なキャップを適切な方向で取り付けてください。それぞれのキャップの検知範囲は次のページを参照してください。

■取り付け方法

ご希望のセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。(☞ 42 ページ)
キャップのツメを溝に合わせて入れてください。

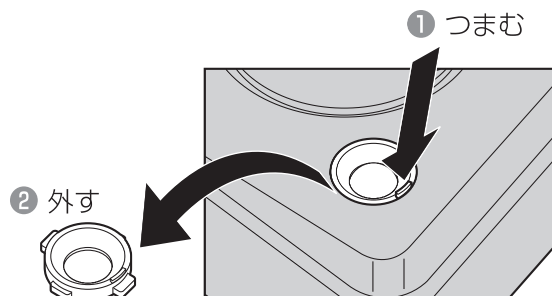


お願い

● 人感(熱)センサーの性能に影響をおよぼすことがあるので、キャップのツメを溝にきちんと合わせて取り付けてください。

■取り外し方法

図のようにキャップを取り外してください。



センサー範囲調整キャップの検知範囲

センサー範囲調整キャップを取り付けることによって調整できるセンサーの検知範囲は、カメラ設置場所の周囲温度により変わります。以下の一覧でセンサーの検知範囲を確認してください。ただし、「人感(熱)センサー感度設定」（☞ 40 ページ）が「標準」のときのあくまでもめやすの検知範囲です。

センサー範囲調整キャップ	周囲温度：20 ℃のとき	
標準 （お買い上げ時に本体に装着）	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約5 m	
■カメラから見て右側に隣家の壁または、道路などがあり、右側を検知させたくないとき ↓ 付属のキャップ1または、キャップ2を下図の向きに取り付ける キャップの裏に番号の表示があります。 Panasonic VL-CM160 キャップ1	キャップ1	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約5 m
キャップ2	キャップ2	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約5 m
■カメラから見て右側に隣家、左側に道路などがあり、どちらも検知させたくないとき ↓ 付属のキャップ3を下図のように取り付ける キャップ3	キャップ3	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約5 m

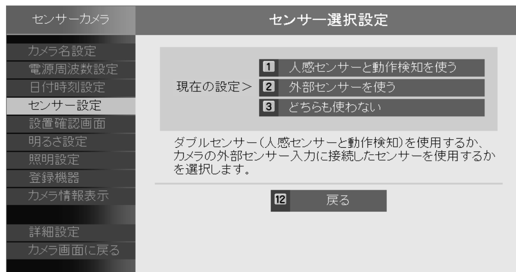
お知らせ

● センサー範囲調整キャップの取り付け角度に応じて、図の検知範囲も回転します。

周囲温度：0 ℃のとき	周囲温度：30 ℃のとき
（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約6 m	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約4m
（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約6 m	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約4m
（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約6 m	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約4m
（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約6 m	（カメラを上から見たとき） センサー検知範囲 約4m

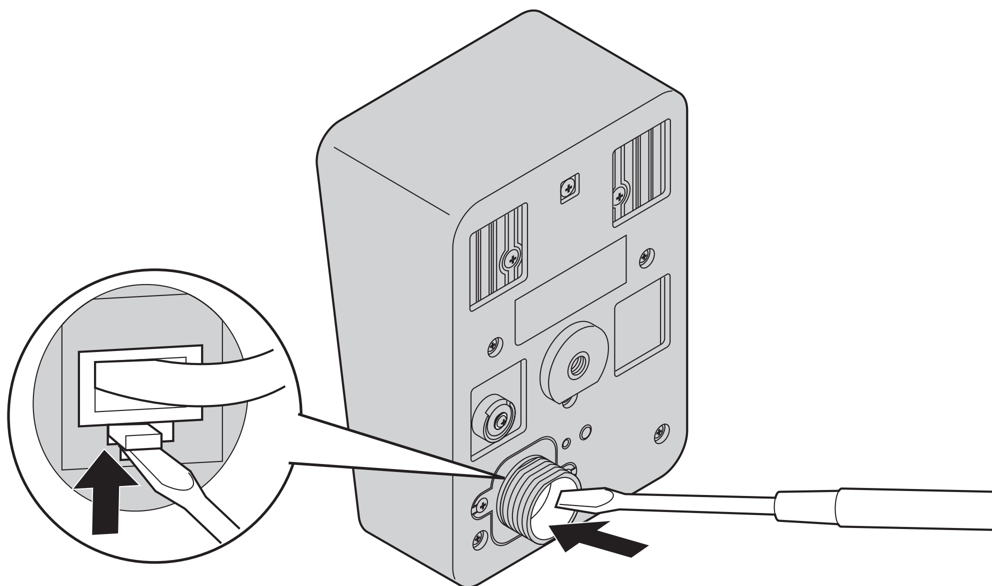
外部センサーを使う

センサー感度設定やセンサー範囲調整キャップでも正しく検知できなかったり、誤って検知したりする場合は、外部センサーを使ってください。（☞ 18 ～ 19 ページ）
外部センサーを使う場合は「センサー設定」の「センサー選択設定」で「外部センサーを使う」を選択してください。（取扱説明書☞ 70 ページ）



LANケーブルの取り外し方法

カメラの「データ/電源入力」端子からLANケーブルを取り外す場合は、マイナスドライバーなどを使って取り外してください。



メモ

メモ

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
コミュニケーションネットワーク カンパニー

〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号



PQQX16381ZA KK0208CC0